

みずほCustomer Desk Report 2017/07/18号(As of 2017/07/14)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	113.53 AUD/USD
TKY 9:00AM	113.42	1.1404	129.36	0.9671	1.2946	0.7741
SYD-NY High	113.58	1.1472	129.51	0.9700	1.3113	0.7835
SYD-NY Low	112.26	1.1392	128.60	0.9630	1.2938	0.7728
NY 5:00 PM	112.55	1.1469	129.04	0.9636	1.3099	0.7827
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	7.485/7.835		Δ25RR	1.088	Yen Call Over	

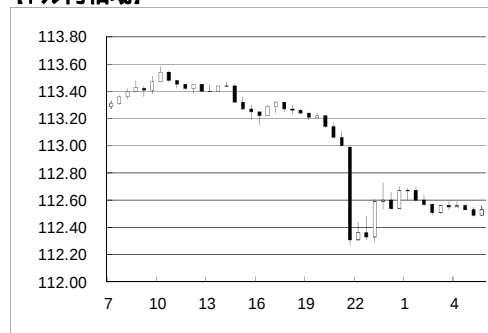
NY DOW	21,637.74	84.65	債券市場	日本2年債	-0.1040	0.2bp
NASDAQ	6,312.47	38.03		日本10年債	0.0830	▲0.1bp
S&P	2,459.27	11.44		米国2年債	1.3556	▲0.8bp
日経平均	20,118.86	19.05		米国5年債	1.8660	▲2.5bp
TOPIX	1,625.48	6.37		米国10年債	2.3319	▲1.2bp
シカゴ 日経先物	20,065.00	▲75.00	為替市況	独10年債	0.5970	▲0.6bp
ロンドンFT	7,378.39	▲35.05		英10年債	1.3100	0.8bp
DAX	12,631.72	▲9.61		豪10年債	2.7170	3.0bp
ハンセン指数	26,389.23	43.06		USD/CNH	6.7660	▲0.0159
上海総合	3,222.42	4.25		ドルインデックス	95.15	▲0.57
USDJPY 3M Vol	8.22	▲0.07%	商品市況	CRB指数	176.284	1.94
USDJPY 6M Vol	8.64	▲0.06%		NY金	1,227.500	10.20
EURJPY 3M Vol	9.05	▲0.03%		WTI	46.540	0.46
EURJPY 6M Vol	9.46	▲0.04%		Dubai Spot	47.35	1.35

東京
東京時間のドル円は113.42レベルでオープン。仲値にかけてドル買いの動きが盛り上がり一時東京時間高値113.58まで上昇する場面が見られたものの、依然として113円台半ばは上値が重く、すぐに押し戻される展開。その後は特段材料が無い中で、113.40-50近辺で揉み合い推移が続いた。午後に入り、本邦5月鉱工業生産が発表されるも市場の反応は極めて限定的となり、レンジ推移に終始した。引けにかけて70-主導と思われるドル売り買いの動きに113.26まで下落し、113.27レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)

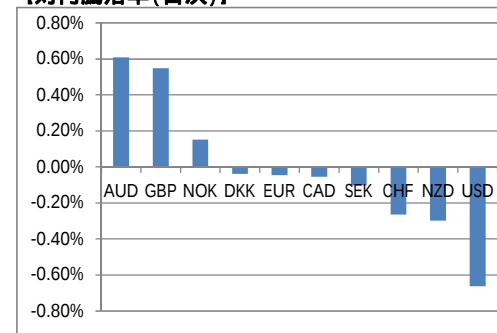
ロンドン
ロンドン市場ドル円は小動きとなった。1113.27レベルでオープン。午後の米経済指標の発表や週末を控えたポジション調整に113.07まで売られた。その後は113円台前半で様子見となり113.09レベルでニューヨークへ渡った。ユーロドルも動き薄。1.1415レベルでオープン。欧5月貿易収支・速報値(季節調整済)は輸入の伸びが輸出を上回り、前回から若干縮小した197億ユーロ(予想202億ユーロ前回196億ユーロから186億ユーロへ下方修正)と発表されるとこの日の安値となる1.1408を付けた。しかし、アジア時間の安値1.1392を下抜けるには至らず1.1410前後で横ばいとなった。オープンと同じ1.1415レベルにてニューヨークへ渡った(ロンドン・トルフィ 00531 444 179 西海)

ニューヨーク
海外時間のドル円は113円台前半での上値の重い推移となり、113.09レベルでNYオープン。朝方発表された米6月消費者物価指数が予想を下回り、同時刻に発表された米6月小売売上高(前月比)も予想を下回り2ヶ月連続のマイナスとなったことから、米長期金利は約2週間ぶりに2.3%を割り込み、ドル円も安値112.26まで急落。その後発表された米7月ミシガン大学消費者マインドはロシアゲートを巡る政治的混乱や重要法案の成立の遅れなどを背景に2ヶ月連続低下、市場予想も下回ったが、相場への影響は限定的となった。その後、米金利反発や、米株上昇を背景にショートカバーが強まりドル円は112.73まで反発。EPA・シカゴ連銀総裁の「引き続き低インフレに直面している」との発言が伝わるが、東京市場3連休を控え午後は薄商いの中、ドル円は112円台半ばでの狭いレンジで推移し、112.55レベルでクローズした。なお、この日はダウ工業平均、S&P500種ともに史上最高値を更新する展開となった。一方ユーロドルは1.1415レベルでNYオープン。朝方の弱い米6月消費者物価指数、米6月小売売上高を受けて米金利低下と共にドル売りが強まったことから、ユーロドルは1.1468まで急伸。1.1436まで急落戻す場面もあったが、その後もユーロドルは堅調に推移し、高値1.1472をつけ1.1469レベルでクローズした。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



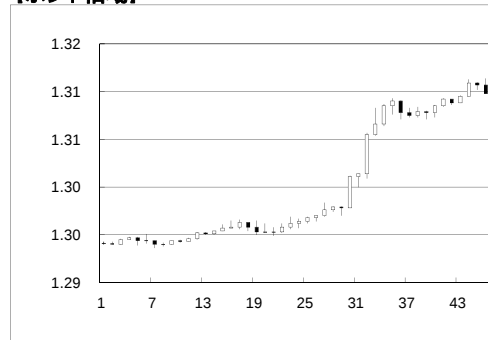
【ユーロ円相場】



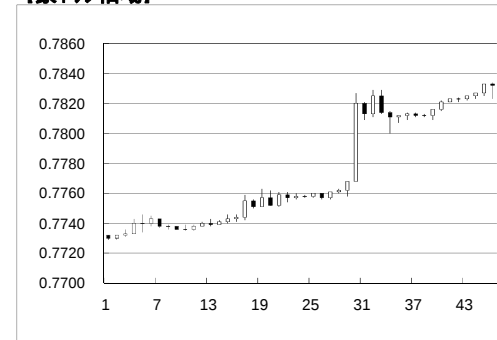
【ユーロドル相場】



【債券相場】



【豪ドル相場】



当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。